

おしえて、エコチル先生！ 今回は、エコチル調査の集計結果について、エコチル調査コアセンターの田村憲治（たむら・けんじ）先生に、その一部をご紹介いただきました。

（ご注意）今回ご紹介する集計結果は、いずれも2013年10月15日時点回答にもとづくデータクリーニング前の暫定的な結果です。

エコチル調査の集計結果 —これまでの調査でわかったこと—

エコチル調査の結果については、1周年のシンポジウムで母親のアレルギー抗体価や血中脂質濃度、2周年記念シンポジウムでは、妊婦さんの喫煙習慣や飲酒習慣の状況や妊娠による変化や食事の地区的な特徴などを報告してきました。

調査開始から3年が経過した現在、参加されている最も大きなお子さんは3歳近くになり、3月20日にはお母さんの参加者（延べ登録人数）は10万人を超え、生まれたお子さんも7万人を超えています。

そこで、今回は昨年10月15日までに登録された質問票などのデータを使って、妊婦さんとパートナーの生活習慣や子どもとのかかわりなどについてまとめてみました。

なお、ここで紹介しきれない集計結果（グラフなど）はエコチル調査HPでご覧いただけます。

http://www.env.go.jp/chemi/ceh/action/data/sympo140131part1_2.pdf

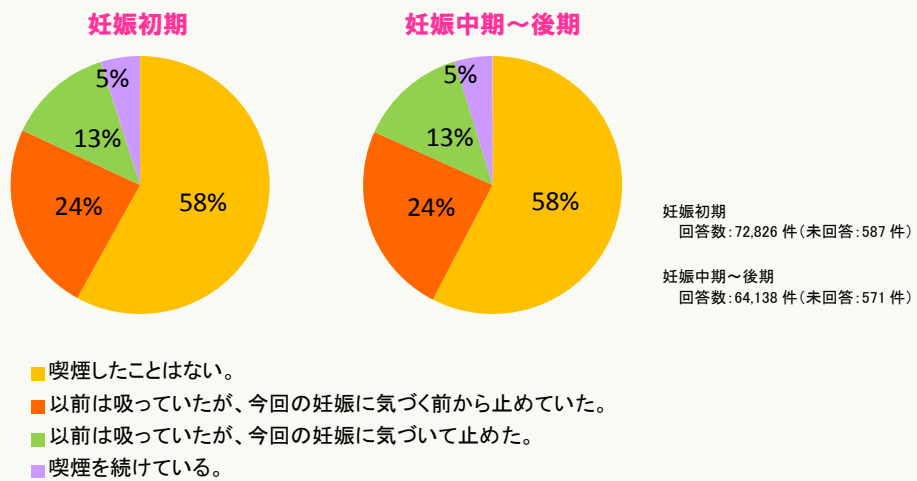
① 妊婦さんとパートナーの喫煙や飲酒の状況

妊娠初期の妊婦さんの喫煙状況については、1年前にも報告しました。そのときより解析対象者の数が2倍以上（73,000人）に増えてましたが、全体の割合や25歳未満の喫煙率が特に高い（他の年齢層の倍にあたる10%）という傾向は全く変わりませんでした。

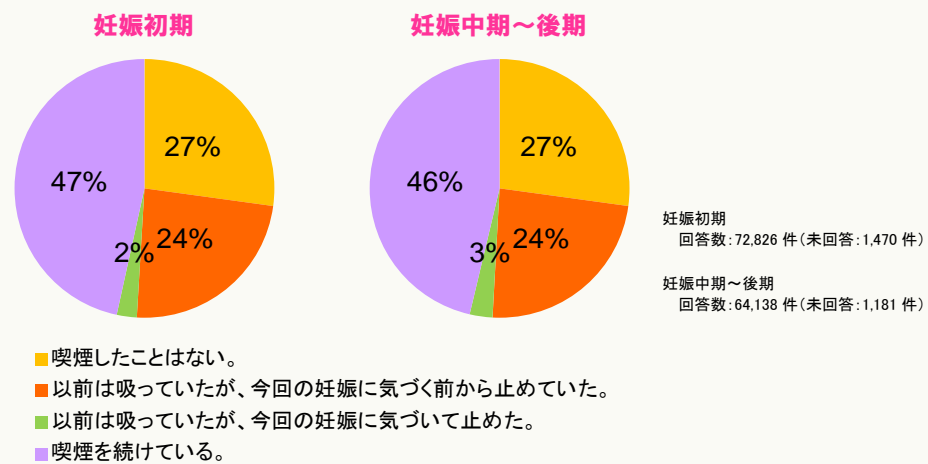
今回はさらに妊娠中期～後期の状況と比べてみたところ、「妊娠に気付いてやめた」という人の割合は初期の結果と変わっていない、つまり妊娠が進んでもあらたに喫煙をやめる人はほとんどいなかった、という

ことが分かりました。パートナーも同様に、喫煙を続ける人の割合は46%でした。

【お母さん自身の喫煙は？】

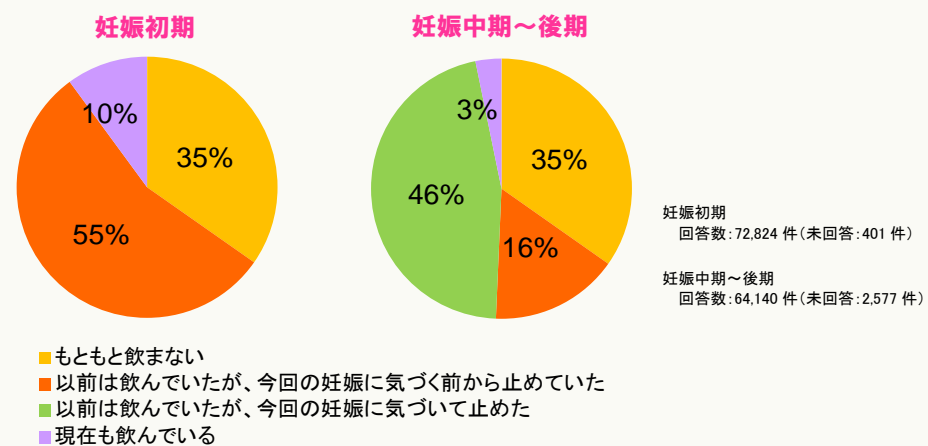


【パートナーの喫煙は？】



妊婦さんの飲酒状況について、妊娠初期と中期～後期を比較すると、飲酒をしている人は初期では10%でしたが、中期～後期では3%に低下していました。これは喫煙とは違う傾向でした。

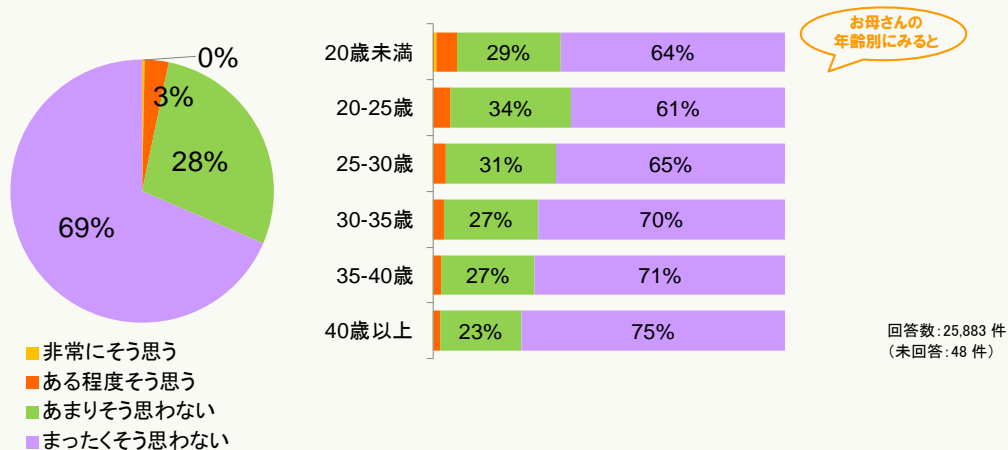
【お母さんの飲酒は？】



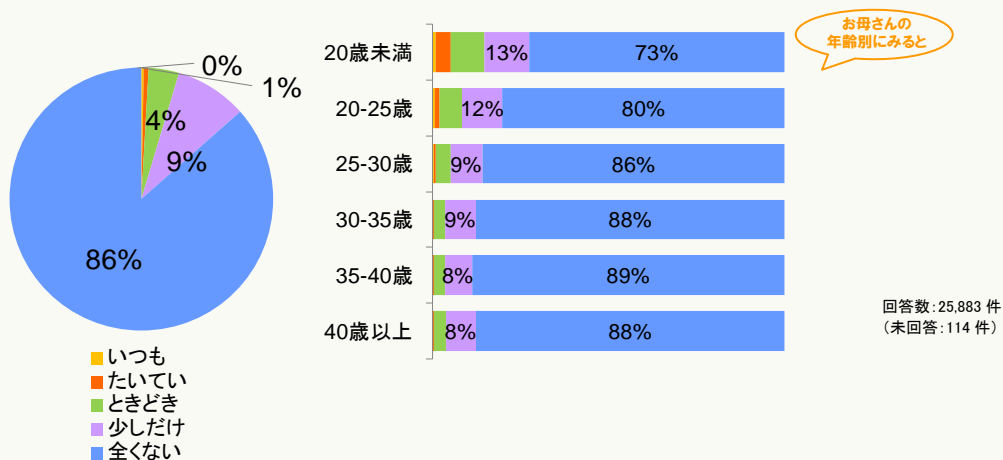
②妊婦さんへのサポート

妊娠や出産後の子育て時期は、精神的にも身体的にも厳しい時期です。産後1か月ころ、子どもに対して腹立たしく感じたり、絶望的になる方はそれほど多くありませんでしたが（それぞれ3%、5%）、若いお母さん、特に20歳未満の方に多い傾向がありました（7%、14%）。周りのサポートが大切なことが分かります。

【この子のことが腹立たしく嫌な気持ちになる（出産後1年）】



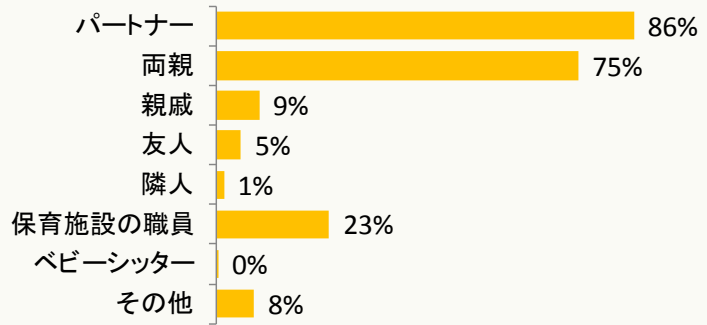
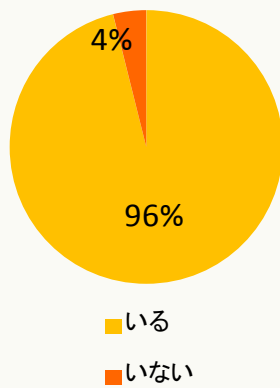
【この1ヶ月絶望的に感じましたか？（出産後1年）】



ここでは、パートナーなどのサポートについてわかったことを紹介します。

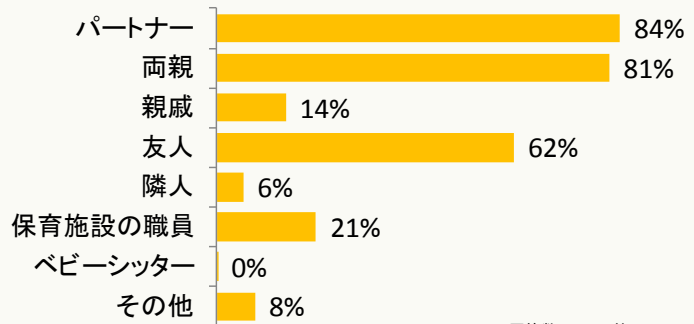
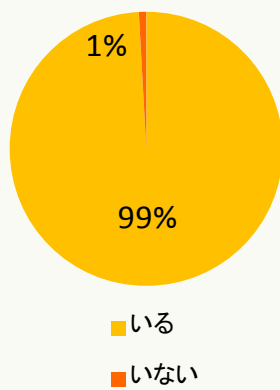
出産後1年での調査からは、子どもの面倒を見てくれる人、子育てについて相談できる人は、ともにパートナー（それぞれ86%、84%）、両親（75%、81%）の順で、相談については友人も高い割合（62%）でした。しかし、わずかではありますが、面倒を見てくれる人がいない（4%）、相談できる人がいない（1%）という人もいました。

【子どもの面倒を見てくれる人（出産後1年）】



回答数: 25,883 件
(未回答: 42 件)

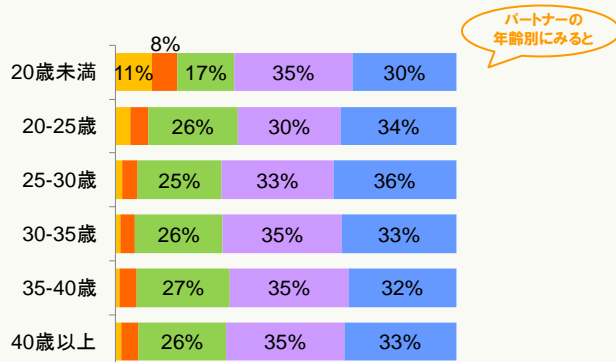
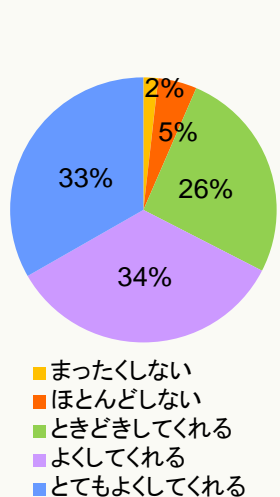
【相談できる人（出産後1年）】



回答数: 25,883 件
(未回答: 63 件)

パートナーの育児協力については、3分の2のお母さんは、よくしてくれる、あるいはとてもよくしてくれる、と回答していました。まったくしない、ほとんどしないという回答は全体では合わせて7%でしたが、年齢が若いほどこの割合が高くなり、20歳未満では19%になっていました。

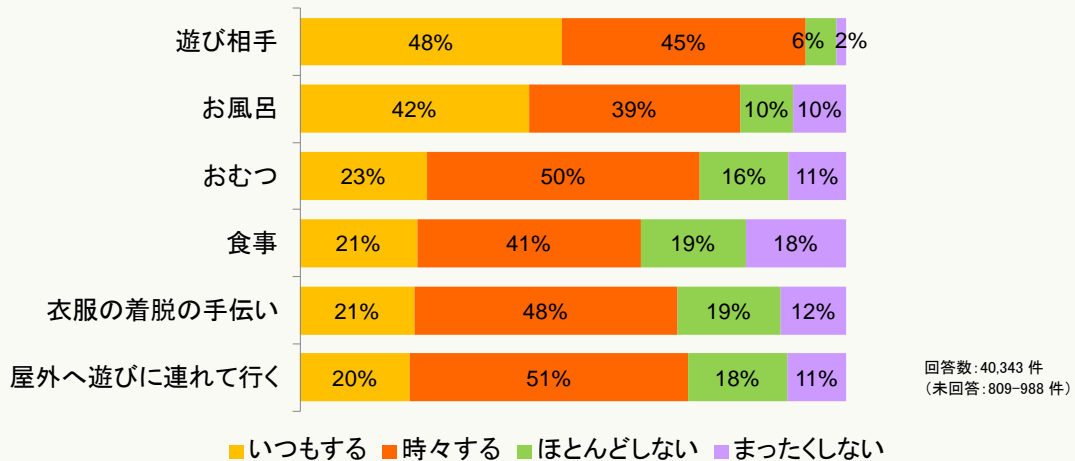
【パートナーの育児協力（出産後1年）】



回答数: 25,883 件
(未回答: 258 件)

出産後6カ月の質問で、パートナーが分担していることを聞きました。いつも遊び相手をするが48%、いつもお風呂に入れるが42%に対して、おむつ替えや食事の世話、着替えをいつもするは20%台になっていました。

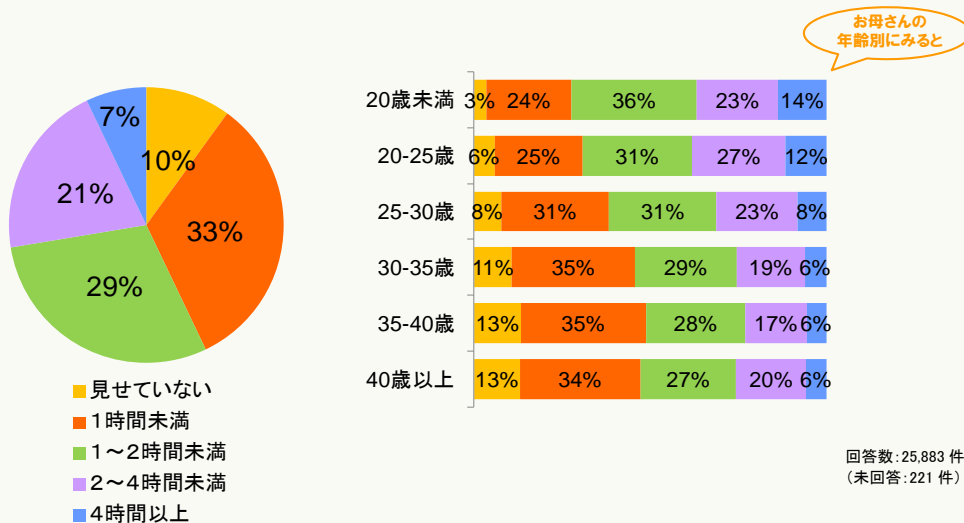
【パートナーの育児参加（出産後6ヶ月）】



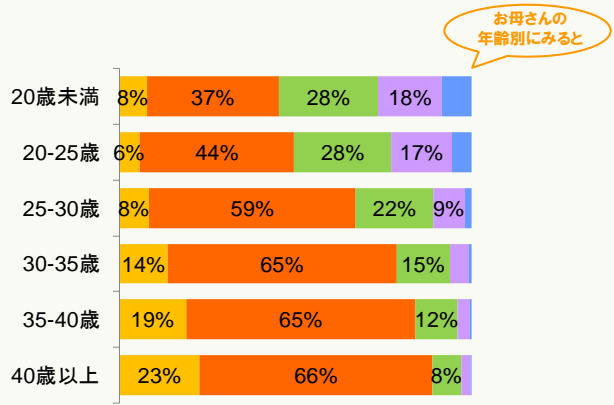
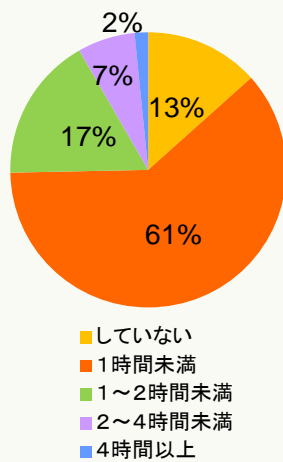
③メディア環境

出産後1年の質問票調査では、子どものメディア環境について聞きました。子どもにテレビやDVDなどをどれくらい見せているかでは、1日1時間以上が合わせて57%、見せていないが10%でした。また、若いお母さんほど見せている時間が長いこともわかりました。子どものそばでパソコンや携帯を使う時間についても、若いお母さんほど長いことがわかりました。

【テレビやDVDなどを何時間みせる？（出産後1年）】



【子どものそばでPCや携帯を何時間使う？（出産後1年）】



回答数:25,883件
(未回答:121件)

さて、エコチル調査が本来明らかにしたいこと（中心仮説）は、胎児期からはじまる化学物質の曝露による子どもへの影響ですが、この影響の中には6歳以降にならなければはっきりしないものもあります。化学物質をどれくらい曝露していたのかを検討するために必要な、血液などの分析も今年から本格的に始まりますが、膨大な数の試料に対して、分析にかかる時間や費用の関係もあり、毎年項目を決めて順番に分析を進めていかざるをえません。化学物質の影響についての成果が出始めるまで、もうしばらくお待ちください。

(2014年3月31日)

■ 今月のエコチル先生

田村憲治 先生

独立行政法人国立環境研究所
エコチル調査コアセンター
フェロー